ジュニアミュージアム

「秩父路3号三峰口へ」

皆野中2年　五野上　愛（あい）さん

（本人のコメント）夏の晴れた朝の日常を描きました。

「森のきつね」

国神小2年　新原　楓愛（ふうあ）さん

むかしむかし、あるところに、ひろい森がありました。そこには、たくさんのどうぶつたちがすんでいました。そのどうぶつの中に、もっともいじわるなきつねがいました。

きつねは、「この森は、オレのものだ。」と言って、いばりました。

「ちがうよ。ここは、みんなの森だよ。」どうぶつたちが言いました。

「うるさあい。」きつねが言いました。

ある日、みんながそうじをしていました。きつねは、すきにしているだけでした。

「きつねくん、どいてくれよ。」くまが言いました。

「うるさあい。」きつねが言いました。

みんなそうじをしながら、きつねにもんくを言いました。

つぎの日、森のみんなは、またそうじをしました。でも、やっぱりきつねはすきにしていました。

きつねが言いました。

「あーあー。つまんないの。」きつねは思いました。（みんなたいへんそうだな。オレも、てつだおうかな。よし、きめた。あしたから、みんなのお手つだいをするぞ。）

つぎの朝、きつねは、朝早く森のみんなをあつめて言いました。

「みんな、ぼくは今日から、みんなのお手つだいをするよ。」

森のみんなは、いっきにもり上がりました。

きつねは、いっしょうけんめいはたらきました。はじめにそうじを手つだいました。

つぎに、うさぎさんのいえをペンキでぬってあげました。きつねは、ほかにもお手つだいをしました。

きつねは、みんなに「ありがとう。」と言われて、うれしくなりました。

それからつぎの日も、つぎの日も、なんどもみんなのお手つだいをしました。

ある夜に、きつねのためにパーティがひらかれました。きつねは、大よろこびでした。

それからきつねは、友だちが多くなりました。

(評)　国語の学習で、きつねの出てくるお話をつくりました。おもしろいお話が上手にできましたね。

三沢小3年　小門　夢奈（ゆな）さん

(評)　左右のバランスがとれ、形よく書くことができました。二画目の入りも良いです。

皆野小5年　引間　心優（みゆ）さん

(評)　点画の接し方に気をつけ、字形を整えて、ていねいに書くことができました。

「あさがおとこびとたち」

皆野小1年　富田　凌央（りょう）さん

(評)　あさがおであそぶこびとたちのようすを上手に描けました。